

公共交通機関のリアルタイム混雑情報提供システムの 導入・普及に向けたあり方検討会

設置趣旨・検討項目

1. 設置趣旨

- いわゆる「三密」（混雑）に対する国民意識が高まっており、公共交通機関の利用については、厚生労働省による「新たな生活様式」において、「混んでいる時間帯は避ける」旨が示されているところ。
- また、一部の公共交通機関では、車両内の混雑情報を提供する取組を開始している。
- こうした状況の下、公共交通機関の利用と新型コロナウイルスの感染拡大防止の両立を図る観点から、混んでいる車両を避けた移動が可能となる環境の整備に向け、過去の運行状況等に基づく混雑予測にくわえ、車内のリアルタイムな混雑情報の提供により、利用者の行動変容を促し、利用の分散を図る仕組みが効果的であると考えられる。
- そのため本検討会を設置し、所要の項目について検討を行い、導入・普及に向けたガイドラインを取りまとめることとする。（当面はバスを対象とした検討を行う。）
- さらに、当該ガイドラインも踏まえた国による支援等を活用し、公共交通事業者が円滑に導入できる環境を整備する。

2. メンバー

[有識者委員]

石田 東生	筑波大学 特命教授（座長）
落合 孝文	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士
越塚 登	東京大学大学院情報学環 学環長・教授
坂下 哲也	一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事
須田 義大	東京大学生産技術研究所 教授
田丸 健三郎	一般社団法人 AI データ活用コンソーシアム 理事・副会長
日高 洋祐	一般社団法人 JCoMaaS 事務局長

#オブザーバー（関係事業者等）及び行政のメンバーについては、別紙1

3. 検討項目

別紙2